

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
幼児理解の理論及び方法 (教育相談を含む)	講義	2	濱田 誠二郎
【授業のテーマ及び到達目標】			
幼児の生活や遊びを通して、発達過程や困り感を理解し、支援の方法を考えることができる。			
【授業の概要】			
幼児の発達や学びをとらえる視点を理解した上で、幼児の生活場면을観察できるようにする。			
【全体の授業計画・内容】			
1. 子ども理解とは			
2. 子どもの心にふれる			
3. 子ども観はどのようにつくられるか			
4. 子どもの発達のとらえ方			
5. 関係性から子どもの発達を理解する			
6. 子どもの心について理解する			
7. 子どもの良き理解者としての保育者			
8. 保護者との温かい連携について			
9. 保護者と信頼関係の形成			
10. 発達の気になる子どもについて			
11. 発達の気になる子どもの保護者との教育相談			
12. 保育カンファレンスの必要性			
13. 子どもの姿から見えてくるものを理解する			
14. 子どもの育ちを共有し、支え合う共同体			
15. 試験およびまとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方: ネットや新聞で、幼児に限らず、子どもの社会的課題に関心を持つ。			
学習のあり方: メモを取りながら聞き、理解に努めること			
復習のあり方: 授業で学習したキーワードをさらに調べる。			
【成績評価】			
意欲・レポート 30% 試験 70%			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
レポート課題について、別の用紙にキーワードの解説、コメントを記入して配布する。			
【テキスト】			
子ども理解と援助 高嶋景子 坂上史子 森上史朗 ミネルヴァ書房			
【参考文献】			
教育相談ワークブック 桜井美加			